



しげやす

よくまなぶ子
やさしい子
つよい子

重安小学校だより
第2号
2020.4.22 発行

美祢市大嶺町北分 976 Tel (0837) 52-0133 校長 藤本 義彦



こんなときだからこそ、いのち・さりげない日々…
に「ありがとう」を感じたい



朝がくると まど・みちお 作

朝がくると とび起きて

ぼくが作ったものでもない水道で 顔をあらうと

ぼくが作ったものでもない洋服を きて

ぼくが作ったものでもないごはんを おしゃしゃたべる

それから ぼくが作ったものでもない本やノートを

ぼくが作ったものでもないランドセルにつめて せなかにしょって

さて ぼくが作ったものでもない靴をはくと たったか たったか でかけていく

ぼくが作ったものでもない道路を ぼくが作ったものでもない学校へと

ああ なんのために

いまに おとなになったら ぼくだって ぼくだって

なにかを 作ることが できるように なるために



ことばのまほう



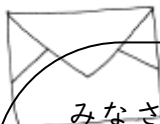
大昔から何百年も伝えられているように、「言葉には力（本校では『ことばのまほう』）」があります。

だから、いい言葉を使うと「しあわせ」になれるんです。子どもたちには、言葉の中でも特にパワーがあるのは「ありがとう」という言葉だと教えています。こんなときだからこそ、自分の命に「ありがとう」、まど・みちおさんの詩のように、当たり前だと思っていたひと・もの・ことは、実はそうではないことに気づいて「ありがとう」。

私たちは、今だからこそ「本当に大切なもの」に気づき、感謝できる機会を与えられているのかもしれない。

感謝って、「人にしてもらって当たり前」「自分のほうが立派なんだ」と思っていると、なかなか「ありがとう」って言えないんです。思えないんです。こんなときだからこそ、声にして伝えてみてください。「ありがとう」って。

子どもたちには伝えていきます。「何度も何度も『ありがとう』って言っていくとね、いつしか自然と『ほんとうに、ありがたいなあ』って思えてくるよ。そんな人は本当にすてきな人だね」って。



子どもたちへ

みなさんのとびっきりの笑顔が学校にもどってきてうれしいなあと思っていたところ、みなさんの体や命を守るため、5月6日までお休みとなりました。学校へ行って、先生や友達と授業をしたり、いっしょに遊んだりして1日を過ごすことが当たり前だったのに…今はできません。外出もせず家で過ごすことはたいへんでしょう。がまんもひつようです。でもね、今は家でがんばってください。きみたちの、そしてわたしたちのみらいのために。そして、気づいてね。「当たり前」は、実は「当たり前」でないことに。実は、わたしたちのまわりは「ありがとう」でいっぱいということに。5月7日は、みんなと会えることを楽しみにしていますよ。

休みの間も手あらいやうがいをこまめにしてくださいね。



地域の方へ



みなさん、お元気でしょうか？ お会いできず、子どもたちも私たち教職員も心からさみしく思っています。きっと、みんな笑顔でお会いできる日がくるはずです。朝の来ない夜はありませんから。

くれぐれもご自愛くださいね。みなさんの存在が、わたしたち重安小にとって宝ですから。誇りですから。



5月の行事



～5/6日（水）臨時休業
13日（水）体重測定
15日（金）交通指導
25日（月）参観日【中止】

しあわせニュース

先日、中学校に入学した生徒6名と保護者が重安小に集まって、新しい制服姿を見せに来てくれました。半ズボンが長ズボンへ、学生服がブレザー・ネクタイに変わり、彼らが一回り大きく映りました。顔を見せに来てくれる彼らの気持ちがたまらなくうれしく、しあわせに感じました。